

学校名 岐阜県立大垣東高等学校
所在地 岐阜県大垣市美和町1784
電話 0584-81-2331

1. 本校の概要

本校は昭和49年に開校され、今年創立30周年を迎えた普通科高校である。「奥の細道」の結びの地、大垣、の中心部にあり、JR・私鉄・バス等が利用でき通学には便利である。回り360度家並みが続く住宅地域にある。素朴で素直な生徒が多く、各種行事・活動等熱心に取り組んでいる（生徒数954名、学級数24、図書館の蔵書冊数29,900冊、年間貸出数1人平均10.6冊）。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

職員が行う広報活動とは別に、生徒の自主的活動として、図書委員が広報係、行事企画係、調査・統計係のいずれかに属し、毎日のカウンター当番以外に、読書活動を活発化させるための取組をしている。

① 図書館情報誌

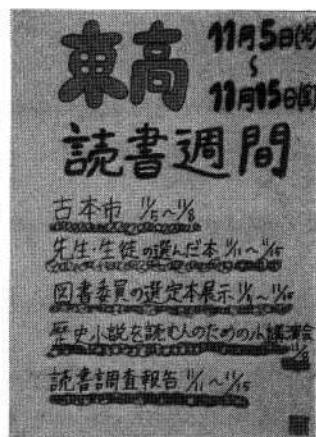
より親しみやすく、より多くの人が利用できる図書館を目指して、生徒の情報誌「BOOK LIFE」を毎月1回、館報「図書館だより」を年1回発行している。特集“ハリー・ポッターの魅力”“岐阜が生んだ作家”“本校OBの小説家をたずねて”“BOOK OF THE YEAR”や、生徒の随筆、先生への突撃インタビュー、新着図書紹介など、係の生徒たちの工夫が生徒をひきつけている。

② 読書週間

11月の2週間を読書週間とし、週単位で内容を変えて次のような行事を行っている。

- ・図書委員の選んだ本の紹介、貸出
- ・先生のおすすめ本の紹介(コメント付)・貸出
コメントが好評で、興味を持ち借りていく生徒も多い。

- ・生徒のおすすめ本の紹介(コメント付)
- ・古本市
- ・読書調査とそのまとめ
- ・図書館担当職員により歴史小説を読む人のための小講演会(近代編)が行われ、近代の各種小説の見どころや歴史的背景等が説明された。



この行事をきっかけに生徒は、図書館に何度か足を運ぶことになり、図書館の常連となる者も少なくない。



〈読書週間中のデコレーション〉

(2) 家庭との連携、地域との連携

読書週間中に県内の図書館（高校、地域、県等から選ぶ）を訪問し、他の図書館の活動、運営を学び、委員会活動に生かしている。

3. 成果と今後の課題

活字離れといわれているが、図書委員は本好きばかりが集まっており、周りに本好きをもっと増やそうと工夫をし、少しずつ貸出数も増えてきた。今後は「BOOK LIFE」の内容をさらに工夫したり、行事を増やして、もっと身近な図書館にするとともに、読書量だけでなく、質の向上を図っていきたい。